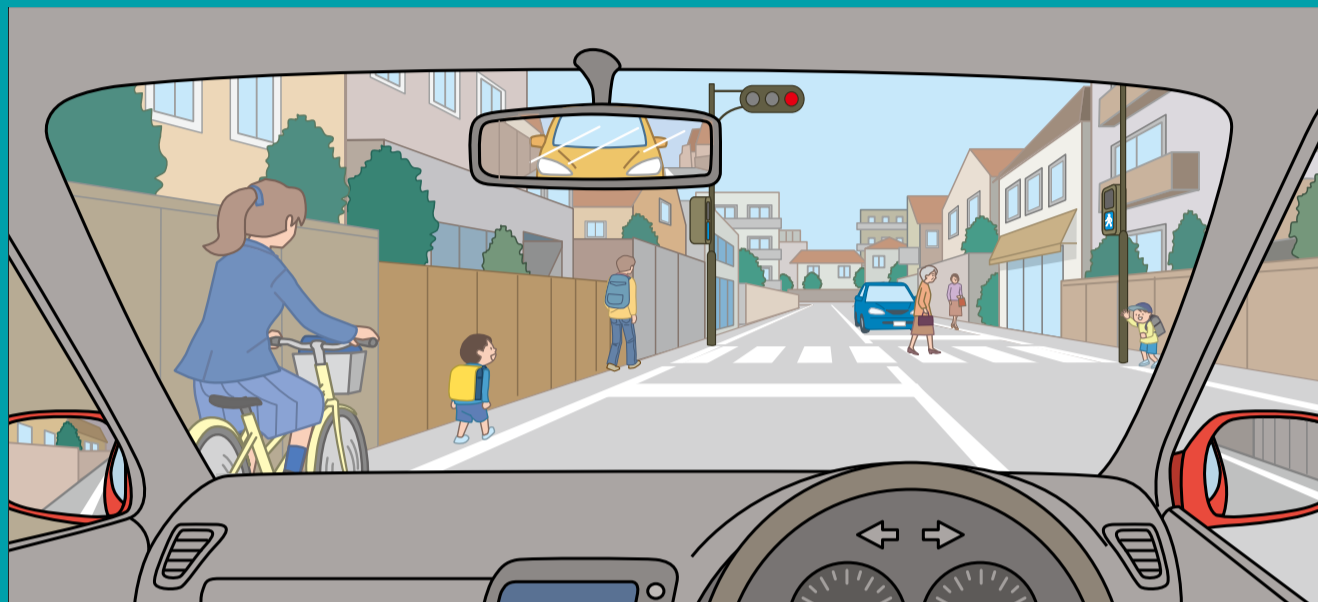


KYT 危険予測トレーニング

第74回 赤信号で停止しようとしている時（四輪車編）

信号機のある横断歩道に近づきました。赤信号のため、あなたは停止線に合わせて止まろうとしています。安全に走行するためには、どのようなことを予測する必要がありますか？



交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、赤信号で停止しようとしている時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見ながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつければ良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト（カラー・A4版）」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード（無料）できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業（株）安全運転普及本部

TEL：03（5412）1736 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業（株）

SJ クイズ ?

子ども編

Q1

歩行中の交通事故死者・重傷者数（2014～2018年の合計）を月別にみると、最も多いのは12月ですが、小学生に限った場合、最も多いのは何月でしょう？

- ①4月 ②5月 ③10月

Q2

小学生の歩行中の交通事故死者・重傷者数（2014～2018年の合計）を時間帯別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①7時台 ②16時台 ③17時台

Q3

小学生の歩行中（第1・第2当事者※）の法令違反別交通事故死者・重傷者数（2014～2018年の合計）をみると、最も多い違反は「飛び出し」ですが、次に多い違反は次のうちどれでしょう？

- ①横断違反（横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等） ②信号無視 ③路上遊戯

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。



「解答」はP7下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。
<https://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

Honda ライディングシミュレーターポリスタイプが完成

路上での実施が困難な二輪車の危険予測トレーニングを仮想空間で行える安全運転教育機器として、1996年にHondaライディングシミュレーターを開発。進化を重ね、2017年に3世代目の二輪免許教習用ライディングシミュレーターを発売した。

このノウハウをもとに、白バイ隊員をはじめとする二輪車乗務警察官の訓練で活用できるポリスタイプが完成した。車体はライディングシミュレーターを活用し、白バイ隊員訓練用の専用ソフトを新たに開発。違反車両の追尾中に想定される危険なシ

チュエーションの再現や、追跡中の広報マイク音声の録音機能、プロジェクターへの映像投影機能を追加し、白バイ隊員の集合教育で活用できるようになっている。また、免許教習用に開発された基本ソフトも実装されており、警察学校や各警察署での警らバイク訓練時の危険予測能力を向上させるツールとして活用が可能である。

試験運用では訓練の現場から「組み立てが容易で様々な場所で運用できる」「白バイ装備の再現だけでなく、実際に使用でき、振り返り学習なども可能なので本格的な訓練が実施できる」といった評価を得ている。



Honda ライディングシミュレーターポリスタイプ



追尾中の音声録音機能も備える



赤色灯など白バイ装備を再現した画面



違反者追尾中の危険状況を再現